

137 イナズマママメアゲマキガイ (ウロコガイ科)

Scintilla violescens

兵庫県ランク:A

環境省ランク:指定なし

種の概要

房総半島から九州、日本海に分布。内湾の潮間帯の岩礫の下に生息する。複数の個体が集まって見られることが多い。殻長10mm、殻高7mm程度。殻は楕円形で薄質、半透明で淡い紫色を帯び光沢が強い。殻頂は小さく、やや後方へ寄る。生時は外套膜が殻の外に出て殻全体を覆い、乳頭状・棘状の突起が出ている。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島中部の数箇所の干潟で生息が確認されている。潮間帯下部の岩礫裏に生息しているが、いずれの産地においても岩礫裏に数個から数十個体付着しているのが見られた。また、ウロコガイ(貝類Aランク)とともに見られることもある。

保護上の留意点

比較的潮通しの良い内湾の礫の多い底床が砂泥干潟で、底床に浮き礫や半ば埋もれた礫岩が必要である。河口や内湾は護岸や埋め立てが頻繁に行われる場所であり、干潟環境を消失させないように配慮する。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋